



災害ボランティアセンターの開設訓練

2月19日、災害発生時に備えて、ボランティアセンターの開設訓練が、海老名災害ボランティアネットワーク(松本愛子代表)、市社会福祉協議会、市の共催でえびな市民活動サポートセンターを会場に実施されました。訓練は、参加者50人がコーディネーター役とボランティア役に分かれ、センターがスムーズに開設できるようになるまで繰り返し行われました。



緑豊かな里山を保全

市内の豊かな自然環境を守り、市民の財産としていこうと、海老名里山づくりボランティア「山仕事の会」(伊藤健三会長ほか21人)が発足、2月20日に伊勢山自然公園で発会式が行われました。式典に引き続き、会員10人が里山の再生と保護に必要な下草刈りなどを行いました。



有中3年が白石で体験・交流

2月24日～25日、有馬中3年生161人が姉妹都市白石市を訪問。白石中3年生と混合のグループに分かれ、ソーセージ作りや雪像作り、紙すき体験などをして、交流を深めました。



引き取り手ない自転車を海外へ

市では、撤去した放置自転車のうち、返還できずに所有権が市に帰属した1000台を、海外供与を目的に引き渡す覚書を、2月10日にボランティア団体 Re-Cycling Eグループ(松本基子代表=写真中央)と取り交わしました。自転車は、カンボジアの公共交通機関のない地方に供与される予定。